



雀だより

第55号

チュンチュン

雀宮の魅力を発信!



中島町の中嶋神社で、疫病退散の神事が行われました!!



中島町の中嶋神社には、江戸時代から続く、「阿波(あなば)さま」の神事があります。

中嶋神社の脇の大杉神社には、疫病除の神が祭られており、7月の夏祭りに合わせて、部落の辻で「あなば大杉大明神 悪魔を払ってインヤラヤ」と幣束を振り回し疫病を部落に入れない神事を行っています。

今年は、夏祭りが取りやめになり、6月1日の月次(つきなみ)祭に合わせて、宮司によるコロナ感染症の早期収束願いの祝詞奏上、出席者は玉串を供え、境内で鼻高天狗(ねがい天狗)と烏天狗(かなえ天狗)の幣束のお祓いに合わせ「あなば大杉大明神 コロナを払ってインヤラヤ」と唱え、コロナ感染の収束を祈願しました。

また、同神社では6月30日から7月10日まで大きな「茅の輪(ちのわ)」を作り、それを3回くぐって心身ともに清らくなり、後の半年間の無病息災を祈る、という半年に1回の神事を行いました。

「茅の輪くぐり」とはその輪をくぐることにより、正月から6月までの半年間の罪穢(つみけがれ)を払う夏越(なごし)の大祓いです。

くぐり方は「水無月(みなづき)の 夏越(なごし)の祓いする人は 千歳(ちとせ)の命 延(のぶ)というなり」という古歌を唱えながら、まず始めに左回り・次に右回り・最後に左回りと8の字を書くように3度くぐり抜け、直進して神社にお参りします。

茅の輪の起源は、善行をした『蘇民将来(そみんしょうらい)』という人が『須佐之男命(すさのおのみこと・八坂神社の御祭神)』から「もしも疫病が流行したら茅の輪を腰につけると免れる」と言われ、そのとおりにしたら疫病から免れた、という故事に基づきます。氏子の皆さんは1日も早く感染流行が収束するように、祈りを込めて茅の輪をくぐっていました。



もくじ

- われら雀っ子 ~WE LOVE 雀宮~ ②
- 地域の皆さんの活動を紹介! 雀アラカルト ③
- 地域団体紹介(雀宮地区防災会) ④
- 雀宮の歴史・史跡コーナー(横田城跡) ④



雀だより「チュンチュン」は年3回発行します

雀宮地区の各学校の地域にかかわる活動をご紹介します！

雀宮南小学校

雀宮南小学校は地域と共に学校を盛り上げていこうと、PTA、自治会の回覧、口コミで参加者を募り、いろいろな活動を行っています。

毎日の登下校時の見守り、読み聞かせ、図書室の本の修繕、家庭科の授業のお手伝いのほか、PTAの保護者で作る「おやじの会」では高校生ボランティアを募り、毎年（コロナ感染予防のため今年度は中止）夏休み中、本校の体育館で一泊する学校キャンプを行っています。

また、広い敷地を役立てようと、学校菜園ボランティアが活動しています。授業で野菜の植え付けを手伝ったり、児童たちが毎日通る外廊下の脇の花壇に野菜を植え、その生長を児童たちが目にし、できた野菜を持ち帰ったり給食で食べることによって食育や情操教育に役立てています。

延べ150人余のボランティアの方々には感謝の手紙や「感謝の会」を通じて児童たちの気持ちを伝えています。



雀宮中学校

～地域清掃活動～

6月18日(木)、雀宮中学校の2年生約180人が地域の公園の清掃活動を行いました。

生徒さんたちは雀宮地区内の大小8か所の公園に分かれて、午後2時から3時までの1時間程度、除草や落ち葉掃き、ごみ拾いなどに汗を流しました。

終了後生徒さんたちは、「大変だったけど地域の役に立てて良かったです」「終わった時の達成感が良かった。また機会があったら参加したいと思います」などと話していました。

担当の先生によると、「生徒たちの『地域社会の一員』としての自覚や、環境を守る意識を育むため、このような地域奉仕の活動を今後も続けていきたい」とのことでした。

近隣の住民の方々も、「蒸し暑く雑草が増えるこの時期に、ボランティアで公園をきれいにさせていただいて本当にありがたい」と喜んでいました。



「特製お守り札」で疫病退散!!

雀の宮4丁目5-18の正光寺(しょうこうじ)ではこのほど、新型コロナウイルスの感染終息を祈念し、無病息災を願う護符や縁起物を記した「特製お守り札」を新たに製作しました。

お札は、縦15センチ、横10センチの御朱印型。天台宗の魔よけの護符「角大師(つのだいし)」と、無病息災を願う宇都宮の縁起物「黄ぶな」、熊本に伝わる疫病退散の妖怪「アマビエ」が描かれています。同寺の西村住職(44)が、大型連休中に考案し自ら描きました。住職は「話題のアマビエと黄ぶなに加え、天台宗ゆかりの角大師の3つがそろったら、何か力をもらえそうに思った。不安な状況の中、皆様は少しでも安心感を持ってもらえたら」と話しています。護符は1枚300円、純益は「とちぎコミュニティ基金」などに全額寄付し、子育て家庭の支援などに役立ててもらおうそうです。また、最近では護符をプリントしたTシャツ(大人用3,000円、子供用2,000円)の販売も始めているとのこと。

希望者は同寺で直接購入できるほか、お札、Tシャツともにネットショップ「BASE(ベース)」からの入手も可能。



【お問い合わせは正光寺へ】

TEL 028-653-1165 <https://www.facebook.com/suzumeshokoji>

田川のサイクリングロードに花苗を植え付けました。

7月5日(日)早朝より、田川フラワーロード雀宮(尾島章市会長)の会員をはじめとする花の愛好者14名で、田川サイクリングロードの反町橋を起点に、中島橋～田町与橋間(約1.2km)にコスモスの苗を植え付けしました。また、反町橋東の「田川フラワー公園」にも各種の花を植え込みました。

参加した会員の方は「秋のコスモス開花が楽しみです。皆様方にも是非見に来ていただきたく思っております」と話していました。



雀宮地区防犯協会が「環境点検結果」の現地確認を行いました。

地域の安全安心と子供の健全育成のため、毎年市内全域で行われる「市民総ぐるみ環境点検活動」は、雀宮地区では例年7月上旬の日曜日に雀宮地区防犯協会(守谷周三会長)を中心に自治会・育成会などの各団体、警察・消防・学校などの関係機関が集まって一斉に実施していましたが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、集合しての一斉実施は行わず、各自治会・団体ごとに7月に道路や公園、空き地などの点検活動を実施し、報告のあった問題箇所を防犯協会が確認するという方法で実施されました。

確認した箇所について地域にて解決できないことは、警察や市・県などの関係機関に改善を要望し、更に安全で安心な、住みやすいまちを目指していく予定です。



令和2年度 主要イベント(9月～12月)について

令和2年9月～12月の雀宮地区の主要なイベントの開催予定につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から検討し、下記の結果となりました。

開催中止

- 9月 雀宮地区敬老祝賀会
- 10月 雀宮地区健康・福祉まつり

開催検討中(8月25日現在)

- 11月 雀宮地域文化祭・収穫祭
- 12月 雀宮ちゅんちゅんウォーク大会
- 12月 雀宮映画祭

※開催検討中のイベントにつきましては、詳細が決定次第「雀宮地域のホームページ」及び自治会回覧等でお知らせいたします。

地域を支える団体を紹介

「雀宮地区防災会」



雀宮地区防災会(稲葉豊会長)は、自治会連合会、婦人防火クラブ、婦人会、消防団及び消防団OB、並びに自衛隊OBなどの地域団体の皆さんが構成員となり、地域の防災活動と災害への対応を目的に活動している団体です。

平常時には防災の啓発活動や危険個所の点検、災害への備えとしての資機材・備蓄品の点検・管理や情報収集・各種訓練などを実施し、災害などの緊急時には避難所開設・運営の支援及び水や非常食及び毛布などの配布を行っています。

特に、昨年10月の台風19号直撃の際には、雀宮地区市民センター及び雀宮中学校に避難所が開設され、避難者約270名の支援にあたりました。

また、消防署の協力のもと例年3月に実施している防災訓練(令和2年3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)では、毎年約400名の地域の皆さんに参加いただき、初期消火や発電機等の資機材の取り扱い、救出救護など、緊急事態に備えたさまざまな訓練を実施しています。

災害には突然起こる地震や、事前に予測のできる台風・洪水などがありますが、いずれにしてもいざというときにしっかり対応できるよう、平常時からさまざまな準備しておくことが大切です。それには自分たちの地域は自分たちで守るという自覚(自助)、連帯感に基づく近隣住民による自主的な防災活動(共助)が重要となります。特に本年は新型コロナウイルスが流行しており、災害時の避難には感染症への配慮が必要なことから、皆様の更なるご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

歴史ある雀宮地区の史跡などを紹介するコーナーです。

雀宮の歴史・史跡 15 横田城跡

松尾芭蕉の奥の細道に、奥州平泉で詠んだ「夏草や兵どもが夢の跡」という句がありますが、我が雀宮にも「つわものどものゆめ跡」がありました。



兵庫塚3丁目中央公園に「横田城跡」という黒御影石の立派な碑が建立されています。

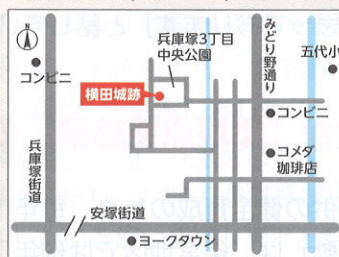
鎌倉時代の雀宮は、宇都宮家の領地でありましたが、天智天皇の嘉禎3年(1237年)宇都宮家5代頼綱の次男宇都宮越中守頼業が横田姓を名乗り兵庫塚に、五稜形の横田城を築いて横田郷1千町歩を領有しました。嘉禎3年10月のことでした。

城址は東西150間・南北120間・面積3町5反歩で、五稜形の地形をしていました。しかし、12年後この地では、宗家宇都宮家を守るには、地形が思わしくなく、結城・芳賀両家との関係もあり、それに政策上の都合などから上三川に築城し移り住みました。現在の横田城跡は兵庫塚3丁目の中央公園を中心にした住宅地になっています。

頼業は弓の名手で武芸に優れ、また歌人でもありました。宇都宮氏の歌集「新式和歌集」に「春といえは花なき里に行く雁の心のうちやのどけかるむ」の句が収められています。

頼業の子孫は代々上三川城を居城としてきましたが、頼業7代の孫師綱の三男元朝が8代城主となり「今泉七郎兵衛尉」と名乗りました。

慶長2年(1597年)上三川城が落城したとき、最後の子



孫の宗孝は先祖横田頼業が開発し帰農しました。兵庫塚の今泉淳さんはその子孫です。

【雀宮郷土史研究会】

雀宮地区の人口

(令和2年8月1日現在)

人口 41,213人

男性 20,540人

女性 20,673人

世帯数 17,112世帯

編集・発行

雀宮地区まちづくり推進協議会
(雀宮地区市民センター内)

〒321-0133 宇都宮市新富町9番4号

Mail
u2225@city.utsunomiya.tochigi.jp

TEL 654-1013 FAX 653-5646